

- ウ 講義内容及び講師
- 「福島県の漆工」
 福島県文化財保護審議会委員 高 瀬喜左衛門
- 「会津の絵画について」
 会津若松市文化財調査委員 坂 井 正 喜
- 「民俗芸能とその演出法」
 国立劇場演出室主任専門員 西角井 正 大
- 「会津地方の天然記念物」
 田島町教育長 五十嵐 徳 三
- 「福島県立博物館の展示について」
 県立博物館主任専門学芸員兼学芸課長 鈴 木 啓
- 「文化財の保護について」
 県教育庁文化課課長補佐 菊 田 謙一郎
- 「関和久遺跡と古代東北」
 東北歴史資料館副館長兼多賀城跡調査研究所長 桑 原 滋 郎
- エ 現地研修
 県立博物館及び若松城天守閣郷土博物館

- ② 田植踊調査
 学術的価値の高い民俗芸能である田植踊を昭和62年度より2年連続で調査し、記録保存を図る。
 昭和62年度 VTR収録10団体 文書記録30団体
 昭和63年度 VTR収録10団体 文書記録10団体
 報告書刊行
 専門調査員 県文化財保護審議会委員 本田 安次
 同 岩崎 敏夫
- ③ 中世城館跡調査
 近年、開発行為により影響が懸念される中世の城、館、屋敷、砦、烽火台、物見台跡等を中心とする関連遺跡についてその位置、規模、遺構の残存状況、周辺の歴史的状況等について昭和60年度より3年連続で調査し、記録保存を図る。
 昭和60年度 城館跡等の所在確認調査
 昭和61年度 重要度の高い城館跡等を選び二次調査と略測図を作成
 昭和62年度 報告書刊行
 専門調査員 県文化財保護審議会委員 安田 初雄
 同 小林 清治
 東北学院大学教授 大石 直正
 県考古学会副会長 馬目 順一
- ④ 文化財指定調査
 歴史的、学術的価値を有する文化財の中から重要なものを選定、指定のための調査を実施した。
 県文化財保護審議会の答申に基づき、昭和63年3月22日付をもって指定及び指定解除を行った文化財は次のとおりである。

2 文化財保存調査の推進

- ① 文化財基礎調査（山岳信仰調査）
 文化財の保護と指定推進の資料とするため、昭和61年度より3年連続で調査を実施している。
 昭和61年度 中通り、浜通り地域の悉皆調査
 昭和62年度 会津地域の悉皆調査、中、浜通り地域の二次調査
 昭和63年度 会津地域の二次調査、報告書の刊行
 専門調査員 県文化財保護審議会委員 岩崎 敏夫

- ④ 文化財指定調査
 歴史的、学術的価値を有する文化財の中から重要なものを選定、指定のための調査を実施した。
 県文化財保護審議会の答申に基づき、昭和63年3月22日付をもって指定及び指定解除を行った文化財は次のとおりである。

県指定文化財指定一覧表

種 別	名 称	員 数	所 在 地	所有者・保護団体
重要文化財				
彫 刻	木造十一面観音菩薩坐像	1 軀	耶麻郡山都町字館原 4660 番地 久昌寺観音堂内	久 昌 寺
歴 史 資 料	杉木之覚碑 附「不時囲杉木組定御請」2点	1 基	耶麻郡西会津町野沢字如法寺乙 3555 番地の1 雷山公園内	西 会 津 町
考 古 資 料	五職神経塚出土経筒 附 石製外容器 3口	3 口	耶麻郡西会津町野沢字原町乙 2234 番地の1 西会津町公民館内	西 会 津 町
重要有形民俗文化財	奥会津の運搬用具ソリと付属品	248 点	南会津郡南郷村大字界字川久保 552 番地 南郷村歴史民俗資料館内	南 郷 村
重要無形民俗文化財				
風 俗 慣 習	慶徳稲荷神社の田植神事		喜多方市慶徳町豊岡字香隈山 3195 番地	慶徳稲荷神社お田植まつり保存会
風 俗 慣 習	お枅明神の枅送り行事		東白川郡棚倉町大字一色字ニシキ牧 42 番地	御枅明神保存会
史 跡	谷地久保古墳	1 基	白河市大字本沼字岩井戸 3 番地	荒 井 忠 男 はか
史 跡	宮ノ前古墳	1 基	石川郡玉川村大字川辺字宮ノ前 416 番地	矢 部 吉 富

県指定文化財指定解除一覧表

種 別	名 称	員 数	所 在 地	所在地・保護団体
天 然 記 念 物	郷土のコブシ		河沼郡柳津町大字郷戸字居平丁 256 番地	河沼郡柳津町中野区